地域高規格道路 境港出雲道路

松江北道路 地元説明会

全体版

島根県松江県土整備事務所

本日の説明の流れ

① 昨年度までの振り返り ～ 本日の説明会の趣旨

- ➢ 松江北道路の概要
- ➢ 前回いただいたご意見
- ➢ 本日の説明会の趣旨

② 検討したルート（道路計画）案

- ➢ ルート（道路計画）案の選定に向けて
- ➢ 前回いただいたご意見とその対応

③ 今後の進め方

① 昨年度までの振り返り
～ 本日の説明会の趣旨

- 松江北道路の概要
- 前回いただいたご意見
- 本日の説明会の趣旨

松江北道路の概要

松江市内道路ネットワークの現状と課題

● 交通渋滞・交通事故

▲交通渋滞の様子（松江市春日町）

● 災害・緊急時の備え

▲H18 年 7 月豪雨による浸水被害
（JR 松江駅前）

● その他
・山陰道への接続
・観光振興

▲松江 JCT
（山陰道・松江だんだん道路）

外環状道路による課題解決

松江北道路とは

松江北道路は、境港出雲道路の一部として、また、松江だんだん道路とともに松江市の外環状道路の一部として、山陰道へのアクセス性向上に伴う物流の効率化、市内へ流入する交通の分散化に伴う渋滞の緩和等により、地域の発展に貢献することを目的とした道路です。

※「地域高規格道路境港出雲道路」は、出雲市から松江市美保関町までの延長約70kmの高規格な（概ね時速60km以上）道路として計画されています

環状道路のはたらき

①交通分散機能　②バイパス機能　③非常時の迂回機能

松江北道路の概要

〔構造等〕

○ 設計速度：60km／ｈ
○ 車線数　：２（片側１車線）
○ 車線幅員：3.25m
○ 路肩幅員：0.75m（トンネル部0.50m）
○ 歩道等　：設置しない
○ 中央帯　：設置しない

前回いただいたご意見

【道路構造】

分　類	いただいたご意見
ルート	・住宅団地等になるべく影響させないでほしい。 ・公共施設に配慮して欲しい。
道路線形	・急カーブにならないようにしてほしい。 ・道路線形を良好にしてほしい。
中央分離帯	・中央分離帯を設けてほしい。
車線	・片側２車線で検討してほしい。
追越車線	・追い越しできるよう、部分的にゆずり車線または4車線にできないか。
非常駐車帯	・非常駐車帯が必要ではないか。

前回いただいたご意見

【道路構造】

分　類	いただいたご意見
平面交差にしてほしい	・立体交差では道路に乗りにくくならないか。
立体交差にしてほしい	・平面交差よりも立体交差の方が良い。 ・平面交差にすると事故が起きやすいのではないか。
高架にしてほしい	・なるべく高架にしてほしい。
高架による影響	・高架によって日照・景観が悪くなるのではないか。
盛土にしてほしい	・農地の中は盛土が良い。
盛土による影響	・盛土は地域が分断されてしまう。
現道機能の回復	・機能回復道路は農業用の運搬車等の大型車が通れる高さにしてほしい。 ・自動車ばかりでなく、歩行者などの通行のことも考えてほしい。

前回いただいたご意見

【地域】

分　類	いただいたご意見
交通安全	・工事期間中の安全確保をしてほしい。 ・通学路の安全対策をきちんとして欲しい。
工事中の対応	・仮設道路等を設ける必要があるのではないか。

【農業】

分　類	いただいたご意見
農地	・農地への影響も考慮して欲しい。 ・農地を区画に対して斜めに分断しないようにしてほしい。
排水施設・設備	・排水施設・設備に影響がないようにして欲しい。

前回いただいたご意見

【関連事項等】

分　類	いただいたご意見
松江だんだん道路の事故	・松江だんだん道路は事故が多い。 ・松江だんだん道路の交差点が危険。交通量が多い。信号の処理で事故はもっと減らせる。
松江だんだん道路の混雑	・松江だんだん道路は朝混雑する。
高架下の活用	・高架下の有効利用を考えて欲しい。
まちづくり	・まちづくりと連携し、道の駅の設置など検討してはどうか。

本日の説明会の趣旨

平成29年度

ルート帯

概ね500m幅

説明会の開催（平成29年 5月）

３つのルート帯案の中から最終ルート帯に選定した結果について説明。

【①説明会の開催】
（平成29年 6月～）
地域からのご意見

【②各種調査・設計の実施】
道路設計
環境調査、埋蔵文化財調査

【③関係機関との調整】
関係機関との調整

平成30年度

ルート案

今回

説明会の開催（平成30年 7月～）

これまでの地域のご意見、各種調査等を踏まえたルート・道路構造案の提示。

今後の進め方

② 検討したルート（道路計画）案

- ルート（道路計画）案の選定に向けて
  - ・ルート案 選定の流れ
  - ・検討項目 → 制約条件
  - ・基本方針
  - ・ルート案 説明
- 前回いただいたご意見とその対応

ルート（道路計画）案の選定に向けて

地域からのご意見

公共事業として配慮すべきこと

・各種影響

検討項目

制約条件

・利便性

・安全性

・経済性

基　本　方　針

（ルート・道路構造形式）

ルート（道路計画）案

検討項目（環境影響評価検討会）

環境影響評価検討会による検討

事業特性及び地域特性を踏まえ、「島根県環境影響評価技術指針」に基づき、環境影響評価を行う項目（ルート選定上配慮すべき環境要素）を以下のとおり設定した。

生活環境に関する調査

- **大気環境・騒音振動**
  供用後の自動車走行による環境への影響（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、騒音、振動）
- **水環境**
  工事による水の濁りについて事前調査とモニタリング調査を実施予定
- **土壌に関わる環境**
  ルート選定を配慮する「重要な地形及び地質」は存在しないが、周辺一帯の地形・地質は極力改変しない方向で検討

自然環境に関する調査

- **動物調査**　哺乳類・鳥類・両生類・爬虫類・魚類・昆虫類・底生動物
- **植物調査**　植物相・植物群落・植生区分
- **生態系調査**　猛禽類の生息状況、コハクチョウの渡来状況　など

検討項目（各種調査等）

公共施設

学校、福祉施設、医療機関、送電線鉄塔などは保全対象として設定

文化財に関する調査

城跡、神社・寺院跡、古墳などについて、現地踏査や文献に基づく調査を実施し、保存が必要な「重要遺跡」を選定

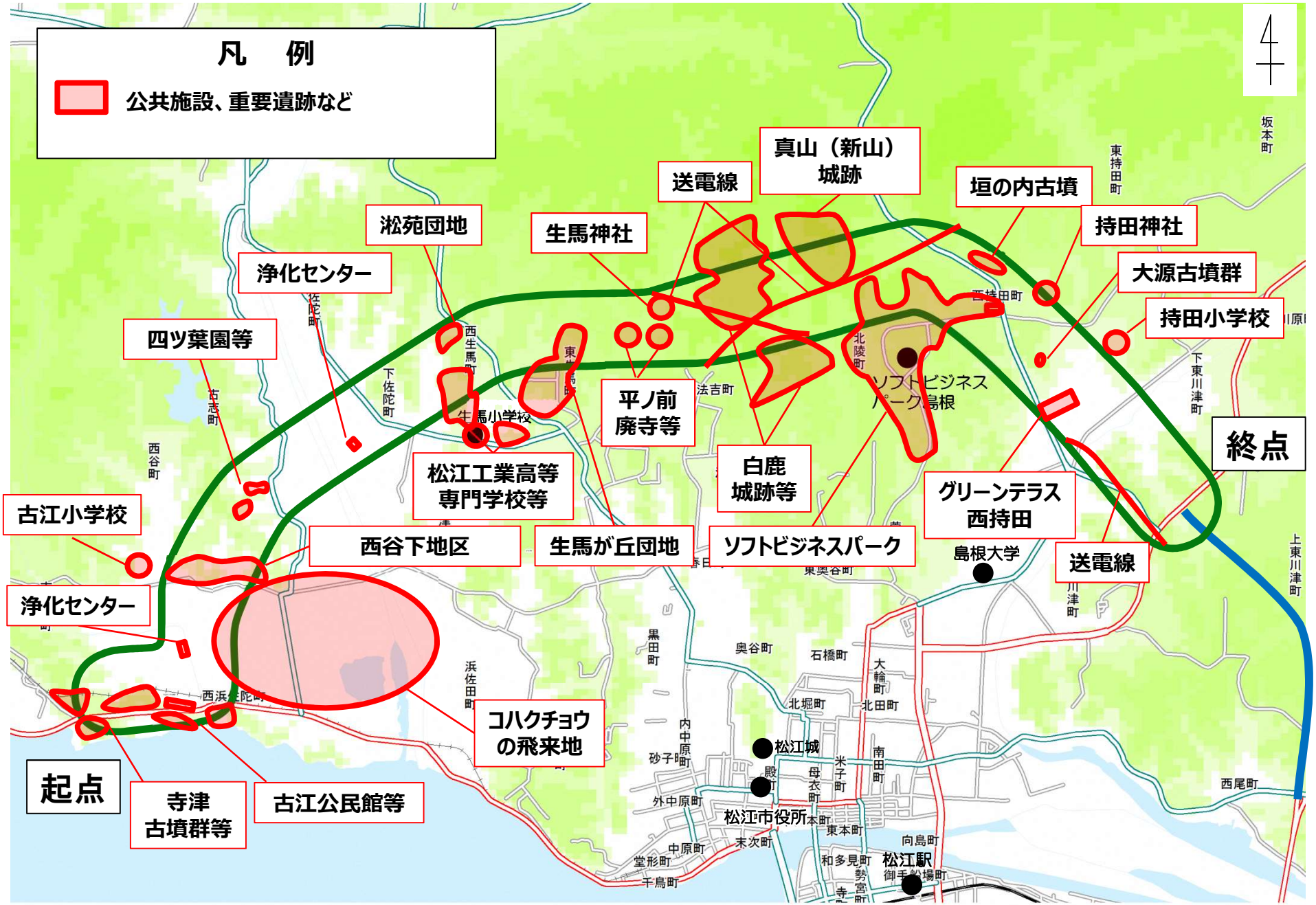
地形・地質に関する調査

文献や現地踏査から、断層や地すべり地形の実態を調査

など

各種調査、検討結果を基に
ルート選定において制約条件を設定

制約条件


凡　例
公共施設、重要遺跡など
真山（新山）城跡
送電線
垣の内古墳
淞苑団地
生馬神社
持田神社
浄化センター
大源古墳群
四ツ葉園等
持田小学校
平ノ前廃寺等
白鹿城跡等
終点
松江工業高等専門学校等
グリーンテラス西持田
古江小学校
西谷下地区
生馬が丘団地
ソフトビジネスパーク
送電線
浄化センター
コハクチョウの飛来地
起点
寺津古墳群等
古江公民館等
ソフトビジネスパーク島根
生馬小学校
島根大学
松江城
松江市役所
松江駅

基本方針（ルート）

ルートの基本方針

●：地域からのご意見
●：公共事業として配慮すべきこと

① **走行しやすい道路線形**とする。 ●●

② 社会環境上配慮する必要がある**文化財、神社・寺院、住宅団地、主要公共施設を極力回避**する。 ●●

③ 自然環境への影響を極力低減することを念頭に**地形の改変を極力少なくなるよう配慮**する。 ●●

④ 橋梁及びトンネル等の構造物や残土、不足土量が少なくなるよう**可能な限りコスト縮減**に努める。 ●

上記 ①～④について
利便性・安全性・経済性等を総合的に勘案したルートとする。

基本方針（道路構造形式）

道路構造形式の基本方針

●：地域からのご意見
●：公共事業として配慮すべきこと

（１）山地部

①地形に合わせ、**切土及び盛土構造を基本**とする。 ●
②ただし、**近接構造物及び重要な文化財に影響がある場合や、山が高い場合はトンネル構造**とする。

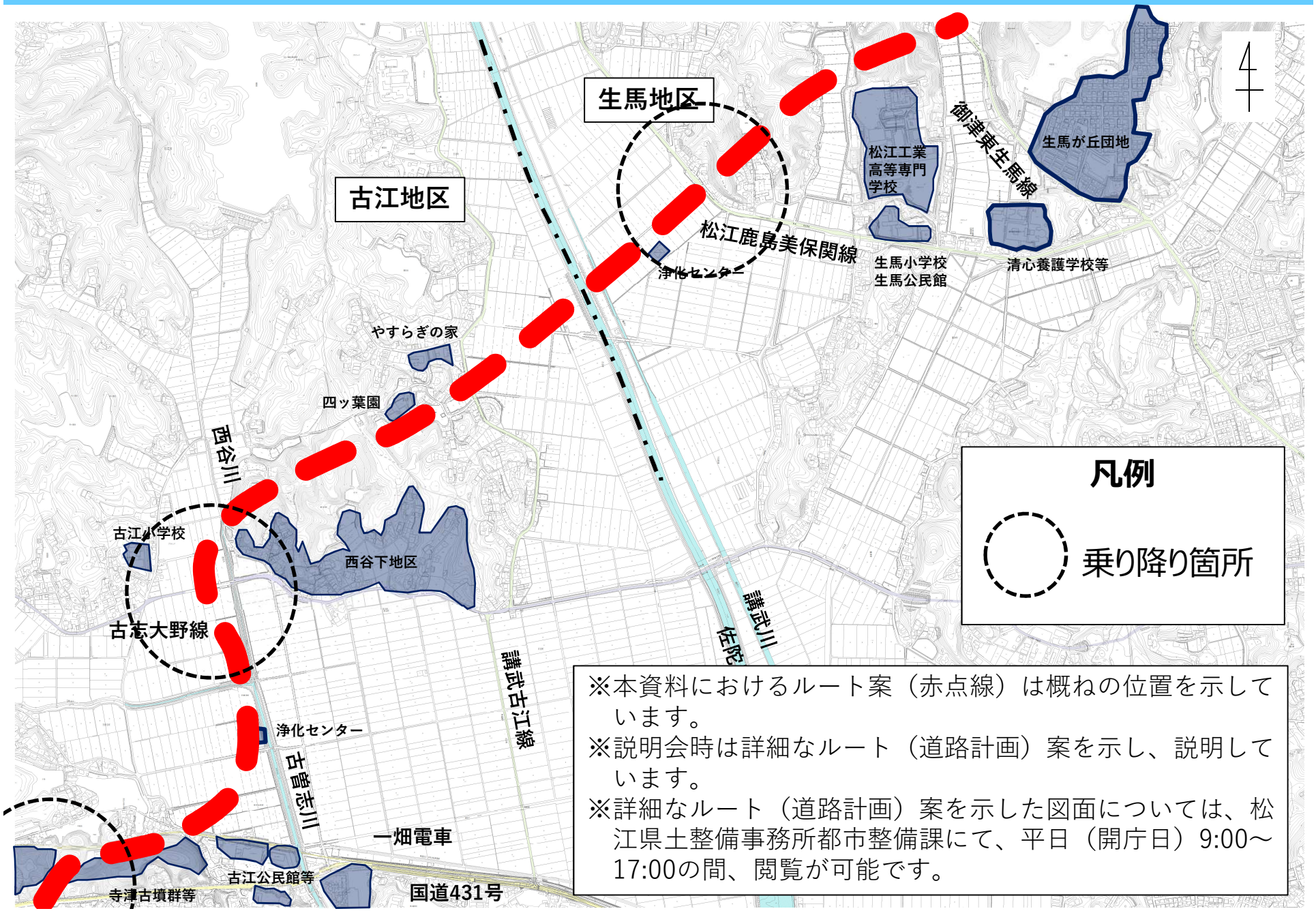
（２）平地部

①残土の有効活用及び、構造物の今後の維持管理を考慮し、**盛土構造を基本**とする。 ●
②ただし、川、道路及び鉄道を横架する箇所、市街化が進行している箇所、細い谷を盛土構造にすることで排水等の懸念があると考えられる箇所については、**高架構造**とする。 ●●

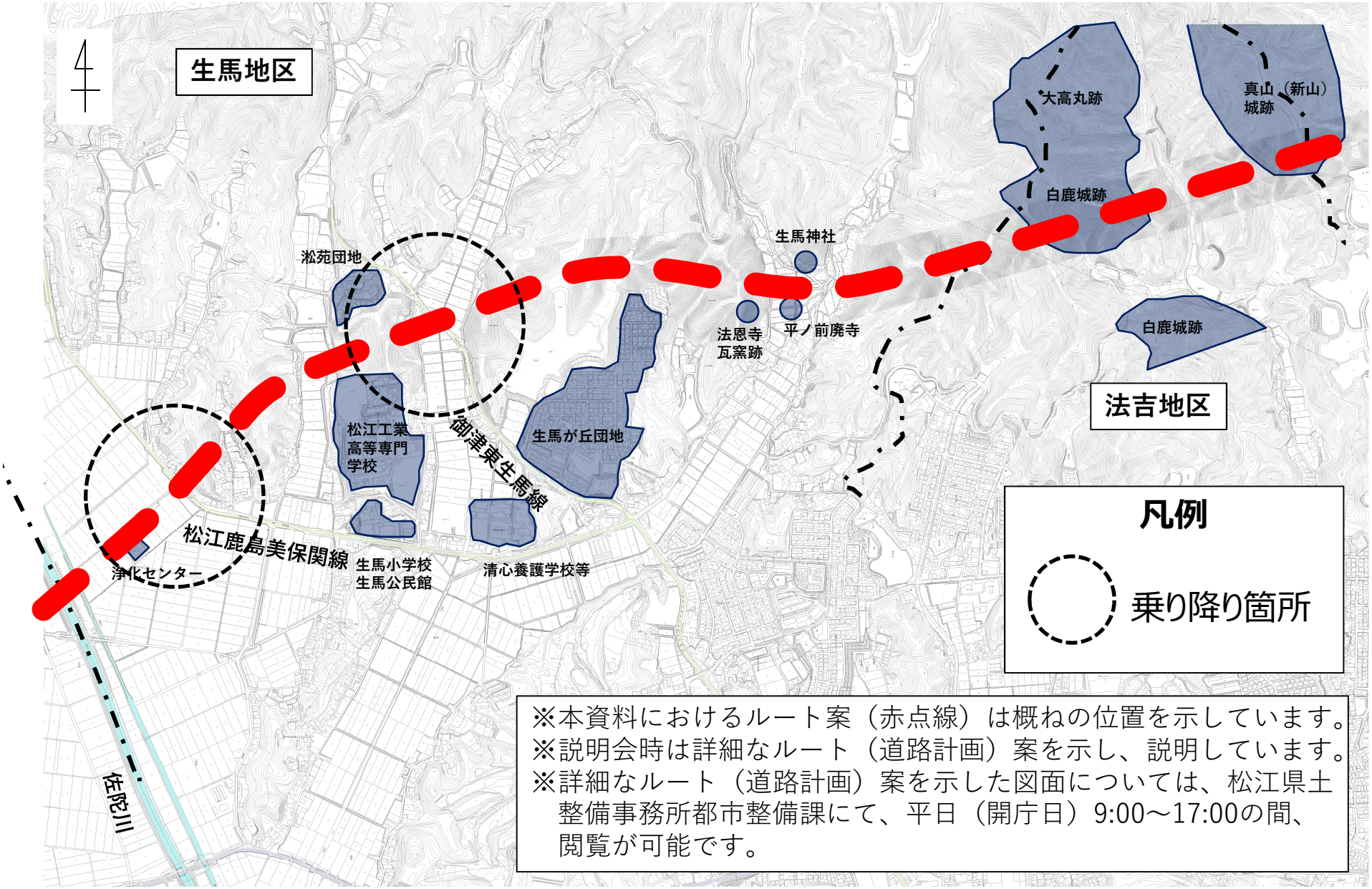
（３）機能復旧（機能回復道路）

これまで有していた道路機能等の機能回復を図る。 ●●

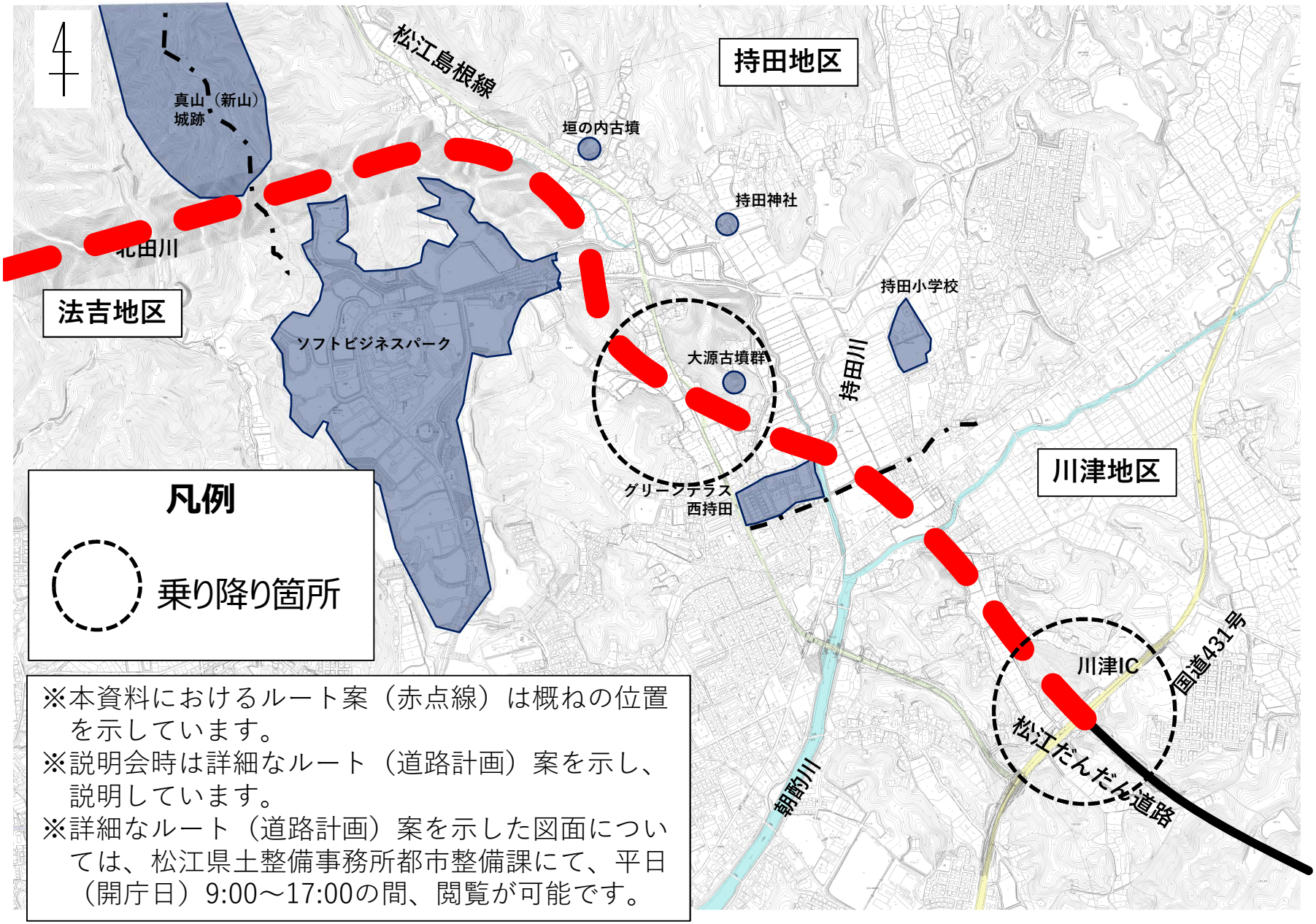
ルート案説明　古江地区～生馬地区



ルート案説明　　生馬地区～法吉地区



ルート案説明　　持田地区～川津地区

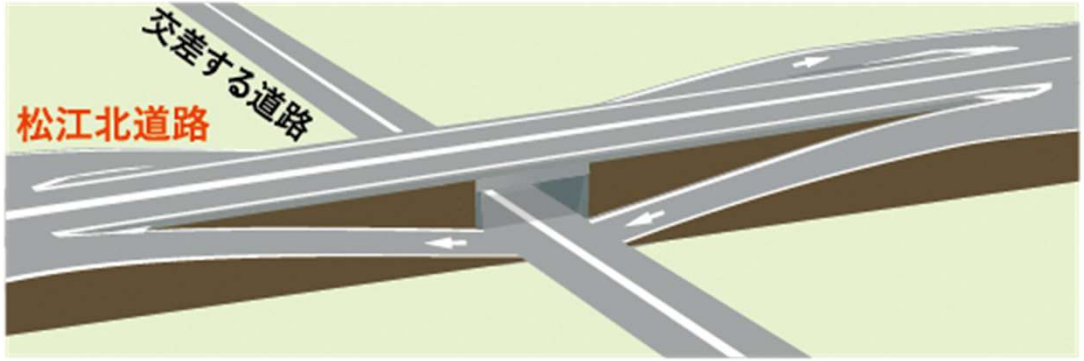


※本資料におけるルート案（赤点線）は概ねの位置を示しています。
※説明会時は詳細なルート（道路計画）案を示し、説明しています。
※詳細なルート（道路計画）案を示した図面については、松江県土整備事務所都市整備課にて、平日（開庁日）9:00～17:00の間、閲覧が可能です。

ルート案説明（乗り降り箇所）

ルート案説明（乗り降り箇所）

立体交差



注）イメージです

〔立体交差のイメージ〕
だんだん道路 西尾インターチェンジ

平面交差

注）イメージです

〔平面交差のイメージ〕
（主）松江島根線 川津まるごう付近

前回いただいたご意見とその対応

○ 計画・調整等に反映できていると考えているもの

【道路構造】

分　類	いただいたご意見	対　応
ルート	・住宅団地等になるべく影響させないでほしい。 ・公共施設に配慮して欲しい。	ルートの基本方針に基づき、利便性・安全性・経済性等を総合的に考えたルートへ
道路線形	・急カーブにならないようにしてほしい。 ・道路線形を良好にしてほしい。	走行性を考慮した道路計画へ
車線	・片側２車線で検討してほしい。	円滑な交通の確保のため、追越車線等の代替えとして、非常駐車帯を計画 （将来の交通量を推計し、交通量に見合った片側１車線道路を計画しています。）
追越車線	・追い越しできるよう、部分的にゆずり車線または4車線にできないか。	
非常駐車帯	・非常駐車帯が必要ではないか。	非常駐車帯を500mに1カ所程度設置する計画へ
立体交差にしてほしい ⇕ **平面交差にしてほしい**	・平面交差よりも立体交差の方が良い。 ・平面交差にすると事故が起きやすいのではないか。 ⇕ ・立体交差では道路に乗りにくくならないか。	西生馬・西持田・川津を立体交差の計画へ （基本的には平面交差で考えています。その中で、交通量が多く、立体交差でないと交通処理ができないと見込まれる川津乗り降り箇所を立体交差としています。また、西生馬と西持田の乗り降り箇所は、延長が長くトンネルもある区間の両端に設置することから、自転車等の誤進入を防ぐため立体交差を計画しています。）

前回いただいたご意見とその対応

○ 計画・調整等に反映できていると考えているもの

【道路構造】

分　類	いただいたご意見	対　応
高架にしてほしい ⇕ **高架による影響**	・なるべく高架にしてほしい。 ⇕ ・高架によって日照・景観が悪くなるのではないか。	川、道路及び鉄道を横架する箇所、市街化が進行している箇所、細い谷を盛土構造にすることで排水等の懸念があると考えられる箇所を高架構造の計画へ （高架構造における日照や景観等の影響については、継続して検討していきたいと考えています。）
盛土にしてほしい ⇕ **盛土による影響**	・農地の中は盛土が良い。 ⇕ ・盛土は地域が分断されてしまう。	残土の有効活用及び、構造物の今後の維持管理を考慮し、盛土構造を基本とした計画へ （地域分断の懸念に対しては、今後、地域の皆様と相談させていただきながら、機能回復道路などの整備を検討していきたいと考えています。）
現道機能の回復 **（交差する道路等）**	・機能回復道路は農業用の運搬車等の大型車が通れる高さにしてほしい。	大型車の通行の必要がない道路を除き、基本的に大型車が通行できる高さを確保する計画へ

前回いただいたご意見とその対応

○ 計画・調整等に反映できていると考えているもの

【農業】

分　類	いただいたご意見	対　応
農地	・農地への影響も考慮して欲しい。 ・農地を区画に対して斜めに分断しないようにしてほしい	農地への影響も考慮した計画へ （ルートの基本方針に基づき、利便性・安全性・経済性を総合的に考え、ルートを計画しています。その中で、やむを得ず農地を斜めに横断する箇所もあります。）
排水施設・設備	・排水施設・設備に影響がないようにして欲しい。	排水施設・設備に配慮した計画へ

【関連事項等】

分　類	いただいたご意見	対　応
松江だんだん道路の事故	・松江だんだん道路は事故が多い。 ・松江だんだん道路の交差点が危険。交通量が多い。信号の処理で事故はもっと減らせる。	松江だんだん道路と接続する川津乗り降り箇所（川津IC）を交通量も踏まえ、立体交差とする計画へ （交通安全対策も継続して検討していきたいと考えています。）
松江だんだん道路の混雑	・松江だんだん道路は朝混雑する。	松江だんだん道路の当面の渋滞対策の一つとして、道路勾配の錯覚により速度が減少しやすい区間内へ速度回復を促す看板を設置しました

前回いただいたご意見とその対応

○　今後継続し検討、または対応が難しいと考えているもの

【道路構造】

分　類	いただいたご意見	対応
中央分離帯	・中央分離帯を設けてほしい。	自動車専用道路ではなく、一般道路として計画していることから、中央分離帯は設置しない計画としています。併せて、緊急時にスムーズに追い越しできるよう中央分離帯は設置しない計画を考えています。
現道機能の回復	・自動車ばかりでなく、歩行者などの通行のことも考えてほしい。	基本的には現在の機能を損なわないように機能復旧する計画です。今後、地域の皆様と相談しながら検討していきたいと考えています。

【地域】

分　類	いただいたご意見	対応
交通安全	・工事期間中の安全確保をしてほしい。 ・通学路の安全対策をきちんとして欲しい。	十分な安全対策を検討したいと考えています。
工事中の対応	・仮設道路等を設ける必要があるのではないか。	

前回いただいたご意見とその対応

○　今後継続し検討、または対応が難しいと考えているもの

【関連事項等】

分　類	いただいたご意見	対応
高架下の活用	・高架下の有効利用を考えて欲しい。	今後、地域の皆様と相談しながら、関係機関との連携や情報提供等を行い、検討していきたいと考えています。
まちづくり	・まちづくりと連携し、道の駅の設置など検討してはどうか。	

前回いただいたご意見とその対応

その他にいただいた以下のようなご意見については
今後、地域の皆様との調整や環境影響評価検討会による
検討等を行い、継続して検討していきたいと考えています。

○ 振動・騒音・日照等の影響

○ 農業用水や排水路への影響

○ 工事期間中の対策　　など

③ 今後の進め方

今後の進め方

平成29年度

ルート帯

概ね500m幅

説明会の開催（平成29年 5月）

３つのルート帯案の中から最終ルート帯に選定した結果について説明。

【①説明会の開催】
（平成29年 6月～）
地域からのご意見

【②各種調査・設計の実施】
道路設計
環境調査、埋蔵文化財調査

【③関係機関との調整】
関係機関との調整

平成30年度

ルート案

説明会の開催（平成30年 7月～） 今回

これまでの地域のご意見、各種調査等を踏まえたルート・道路構造案の提示。

説明会の開催（平成30年 冬頃～） いただいた意見の検討結果等 次回

平成31年度～

都市計画決定の手続き

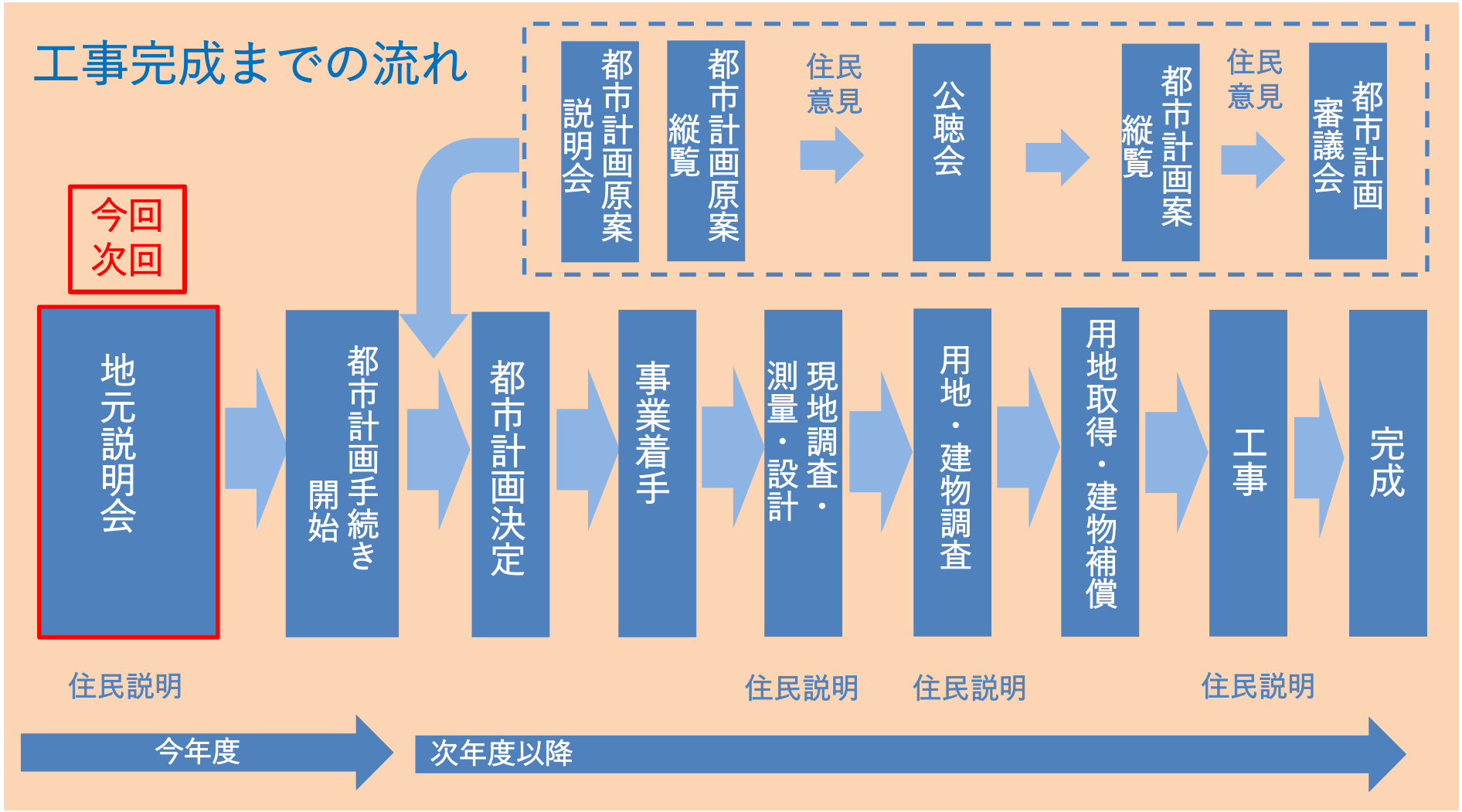
都市計画説明会、都市計画縦覧、公聴会、都市計画審議会など

都市計画決定

新規事業化（平成30年代前半目標）

今後の進め方

松江北道路が完成するまで



お問い合わせは下記までお願いします

■島根県 松江県土整備事務所 土木工務部 都市整備課
TEL：0852-32-5747　E-mail：matsuekitadouro@pref.shimane.lg.jp

■松江市 都市整備部 国県事業推進課
TEL:0852-55-5626　E-mail：kuniken@city.matsue.lg.jp